

シラバス 保健体育科

教科名	第3学年 保健体育科	担当者	吉本 寛希
-----	------------	-----	-------

【 学習到達目標 】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

【 学習方法やポイント 】

- ・ 集団行動を通して、クラスという集団の一員であることを意識して行動する。
- ・ 各種目、基礎練習から取り組み、知識や技能を身につける。実技テストで技能の習得を確認する。
- ・ できなかったことができるようになる達成感を味わう。
- ・ 学習プリントを使用し、行ったことを振り返り、学んだこと、反省や課題などを記入し、次につなげるようにする。

【 年間学習計画表 】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学期	オリエンテーション	・ 1年間の授業内容の発表や評価方法、授業でのルール等を理解する。	・ 授業の取り組み方、ルールを学ぶことにより、スムーズに授業を行うことができる。
	球技	・ 集団行動・ラジオ体操	・ 集団行動の大切さ、体育の授業に取り組む姿勢をつくる。
	水泳	・ バスケットボール	・ 作戦に応じたボール操作で仲間と連携してゲームが行えるようになる。
	保健	・ 水泳	・ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解し、泳法を身に付けることができるようになる。
2 学期	体育大会練習	・ 環境の健康への影響	・ 環境への適応能力や室内の空気の条件、水の役割や飲料水の確保について理解する。
	球技	・ 種目練習	・ 安全に競技が行えるようにルールを理解する。
		・ ソフトボール	・ 基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開することができるようになる。

	陸上競技 保健	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・長距離 ・環境の健康への影響 ・感染症の予防と健康を守る社会の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・狙った場所へのサービス・打ち返しネット際の防御や攻撃、ラケットを強く振って、空いた場所へ打ち込むことができるようになる。 ・自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通すことができるようになる。 ・生活排水やごみの処理、環境の汚染と保全について理解する。 ・感染症や病原体を知ることや、その予防について理解する。
3 学 期	球技 保健	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球 ・バレーボール ・感染症の予防と健康を守る社会の取り組み ・文化としてのスポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なルールを理解し、試合を行い、勝負の楽しさを味わう。 ・狙った場所へのサービス・打ち返しネット際の防御や攻撃、ポジションに応じたボール操作ができるようになる。 ・保健や医療機関、医薬品の利用について理解する。 ・スポーツが持つ、人々を結びつける働きについて理解する。

【評価について】

保健体育科では、以下の3つの観点に基づき、生徒の皆さんの学習の様子を総合的に評価します。

①知識・技能

保健分野、体育理論、スポーツに関する知識について理解しているか。
基本的な技能を身に付けているか。試合や記録会・発表会で技能を発揮できているか。
(主に定期テスト、各種目で行う技能テストで評価します。)

②思考・判断・表現

自己のことを理解し、練習や試合を考えて行い、練習方法を工夫したり、課題を持って取り組んでいるか。
(主に学習プリント、練習や試合での動き、定期テストで評価します。)

③主体的に学習に取り組む態度

出欠・服装、忘れ物、授業に取り組む姿勢、準備・後片付け、練習・演技を積極的に行っているか。
(主に授業態度、提出物、忘れ物で評価します。)

※①②の評価の内容も含まれます。